



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成29年1月31日

上場会社名 クラリオン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6796 URL http://www.clarion.com
 代表者（役職名） 執行役社長兼COO（氏名） 川本英利
 問合せ先責任者（役職名） 執行役社長室本部長（氏名） 新保邦彦 (TEL) 048-601-3700
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利 益		四半期包括利益合 計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	143,293	△11.4	7,365	△4.3	7,348	△1.9	5,331	△5.4	5,557	13.1
28年3月期第3四半期	161,805	12.1	7,696	68.6	7,494	104.8	5,635	114.2	4,912	△35.0

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	円	銭	円	銭
29年3月期第3四半期	18	91	—	—
28年3月期第3四半期	19	99	—	—

〔重要〕平成29年3月期第1四半期から「営業利益」には当社が連結経営成績に関する指標として用いている「調整後営業利益」を記載しており、対前年同四半期数値及び対前年同四半期増減率の表示も組み替えています。「調整後営業利益」は、売上収益から売上原価ならびに販売費及び一般管理費の額を減算して算出した指標です。

本ページ以外では、「税引前利益」「親会社の所有者に帰属する四半期利益」を「税引前四半期利益」「親会社株主に帰属する四半期利益」と表示しています。「基本的1株当たり四半期利益」「希薄化後1株当たり四半期利益」は、「親会社の所有者に帰属する四半期利益」を基に算定しており、本ページ以外では、「基本1株当たり親会社株主に帰属する四半期利益」「希薄化後1株当たり親会社株主に帰属する四半期利益」と表示しています。

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率	
	百万円		百万円		百万円		%	
29年3月期第3四半期	139,443		42,564		42,409		30.4	
28年3月期	131,031		37,855		37,688		28.8	

本ページ以外では、「親会社の所有者に帰属する持分」「親会社所有者帰属持分比率」を「親会社株主持分」「親会社株主持分比率」と表示しています。

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
28年3月期	—	—	—	3.00	3.00	
29年3月期	—	—	—			
29年3月期(予想)				3.00	3.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利 益		基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	200,000	△7.5	10,000	△8.9	9,000	△14.3	6,500	△16.1	23	06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

〔重要〕「営業利益」には、当社が連結経営成績に関する指標として用いている「調整後営業利益」を記載しています。「調整後営業利益」は、売上収益から売上原価ならびに販売費及び一般管理費の額を減算して算出した指標です。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	282,744,185株	28年3月期	282,744,185株
29年3月期3Q	892,851株	28年3月期	883,594株
29年3月期3Q	281,856,719株	28年3月期3Q	281,876,807株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 配当予想の修正	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	4
3. 要約四半期連結財務諸表	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出持ち直しなどの要因により製造業を中心に改善傾向にあり、自動車業界においても熊本地震による生産の落ち込みから徐々に挽回の兆候が見られました。一方で、依然として個人消費の回復テンポは遅く、非製造業では第1四半期以降横這いの景況でありました。また、米国大統領選挙におけるトランプ氏勝利後のわが国経済は、為替が円安傾向にあるものの先行きは不透明であります。

2016年後半の世界景気は、米国、欧州ともに景気は緩やかな拡大基調にあり、個人消費も堅調な推移が見られました。アジアでも輸出の回復が鮮明になり内需も底堅さが続いております。一方、中国では足元の景気は改善を見せておりますが、相変わらず先行きの不透明感が残る景況感を示しております。

当社グループの関連する自動車業界の主要マーケットにおける2016年通年の新車販売台数は、米国では前年比0.5%増の1,750万台を記録し、欧州では前年比6%増の1,580万台となりました。また、中国でも前年比12%増の2,800万台と過去最高台数を更新するなど好調を維持しております。一方、日本では2014年以降販売低迷が続いており、2016年通年の新車販売台数は前年比1.9%減の491万台となり5年ぶりに500万台を割り込みました。

このような市場環境のもと当社グループは、事業ポートフォリオの変革を掲げ自動運転、自動駐車を中心としたセーフティアンドインフォメーション事業とインターネットと車をつなぐコネクティビティ事業を、将来に向けての成長の柱として強化しております。同時に、グローバル事業運営として日本中心の事業構造を海外へとシフトすべく見直しに着手しております。

当第3四半期連結累計期間における連結業績の概要は次のとおりであります。

当社グループにおきましては、米州、中国におけるOEM（相手先ブランドによる生産）製品の伸張がありましたものの、円高による為替影響を大きく受け、また、日本国内の厳しい市場環境のもと、売上収益は1,432億93百万円と前年同期比11.4%の減収となりました。

損益面につきましては、原価低減の推進に努めたものの売上減収の影響が大きく、調整後営業利益は73億65百万円と前年同期比4.3%の減益、営業利益は76億34百万円と前年同期比7.7%の減益となりました。また、税引前四半期利益は73億48百万円と前年同期比1.9%の減益、親会社株主に帰属する四半期利益は53億31百万円と前年同期比5.4%の減益となりました。

セグメント別の業績概要は次のとおりであります。各セグメントの売上収益は外部顧客に対する売上収益を記載しており、各セグメントの利益は、営業利益であります。

(日本)

国内における新車販売の低迷、市場回復の遅れが続き、当セグメントの売上収益は512億65百万円と前年同期比17.0%の減収となりました。損益面につきましては、全社をあげた原価低減活動推進、北米向け製品生産増による操業度改善等により、売上減収の影響を補い、営業利益は32億25百万円と前年同期比0.6%の増益となりました。

(米州)

米国での好調な自動車販売、OEM市場向け製品の伸張等により売上規模は拡大したものの、円高による為替影響を吸収できず、当セグメントの売上収益は647億10百万円と前年同期比6.0%の減収となりました。また、損益面につきましても営業利益は18億88百万円と前年同期比11.0%の減益となりました。

(欧州)

欧州においては緩やかながら景気拡大基調を示しているものの、売上拡大を上回る円高による為替影響により、当セグメントの売上収益は92億59百万円と前年同期比8.4%の減収となりました。また、損益面につきましては、売上減収により、営業損失は31百万円（前年同期は1億61百万円の営業利益）となりました。

(アジア・豪州)

中国でのOEM市場向け製品の売上拡大がありました。タイでのOEM市場向け売上減少と為替影響により、当セグメントの売上収益は180億58百万円と前年同期比14.5%の減収となりました。損益面につきましては、中国での売上増収等により、営業利益は28億3百万円と前年同期比9.9%の増益となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の決算に使用した損益為替レートは以下のとおりです。

		第1四半期	第2四半期	第3四半期
当期為替レート	米ドル	約108円	約102円	約109円
	ユーロ	約122円	約114円	約118円
前期(参考)	米ドル	約121円	約122円	約122円
	ユーロ	約134円	約136円	約133円

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

当第3四半期連結会計期間の資産につきましては、総資産が1,394億43百万円であり、前連結会計年度末より84億11百万円増加いたしました。このうち、流動資産につきましては818億8百万円であり、前連結会計年度末より105億62百万円増加いたしました。非流動資産は576億34百万円であり、前連結会計年度末より21億51百万円減少いたしました。

負債につきましては、968億78百万円であり、前連結会計年度末より37億2百万円増加いたしました。

資本につきましては、親会社株主持分が424億9百万円であり、前連結会計年度末より47億20百万円増加いたしました。主に四半期利益によるものであります。

② 連結キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、240億71百万円(前年同期末残高は154億68百万円)となりました。

営業活動に関するキャッシュ・フローにつきましては、棚卸資産の増加がありましたものの、四半期利益、減価償却費及び無形資産償却費等の計上、売上債権の減少、買入債務の増加等により、180億3百万円の収入(前年同期は175億96百万円の収入)となりました。

投資活動に関するキャッシュ・フローにつきましては、有形固定資産及び無形資産の取得等により、69億36百万円の支出(前年同期は86億71百万円の支出)となりました。

財務活動に関するキャッシュ・フローにつきましては、配当金の支払及び長期借入債務の償還等により15億62百万円の支出(前年同期は13億36百万円の支出)となりました。

(3) 配当予想の修正

平成29年3月期の期末配当予想につきましては、業績等を考慮した上で検討するとしておりましたが、年度業績の見通しなどを勘案した結果、期末配当の予想を1株当たり3円と修正させていただきます。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想				—	—
今回修正予想				3円00銭	3円00銭

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関しましては、平成28年5月10日の「平成28年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当該事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

当該事項はありません。

3. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位 百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2016年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び現金同等物	14,326	24,071
売上債権	30,427	28,031
未収入金	1,245	1,431
棚卸資産	22,419	24,840
その他の金融資産	866	520
その他の流動資産	1,960	2,913
流動資産合計	71,245	81,808
非流動資産		
有形固定資産	24,614	23,531
無形資産	26,274	25,080
持分法で会計処理されている投資	1,262	1,303
有価証券及びその他の金融資産	2,393	2,663
繰延税金資産	3,986	3,821
その他の非流動資産	1,253	1,234
非流動資産合計	59,786	57,634
資産の部合計	131,031	139,443

(単位 百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2016年12月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	255	245
償還期長期債務	833	9,695
買入債務	25,650	30,268
未払金	7,458	6,555
その他の金融負債	169	561
未払費用	10,312	8,849
未払法人所得税	1,910	2,148
引当金	581	652
その他の流動負債	561	813
流動負債合計	47,732	59,790
非流動負債		
長期債務	34,788	25,746
その他の金融負債	1,286	2,072
退職給付に係る負債	8,707	8,640
引当金	406	398
その他の非流動負債	254	230
非流動負債合計	45,443	37,088
負債の部合計	93,176	96,878
資本の部		
親会社株主持分		
資本金	20,346	20,346
利益剰余金	14,124	18,612
その他の包括利益累計額	3,366	3,602
自己株式	△148	△151
親会社株主持分合計	37,688	42,409
非支配持分	166	155
資本の部合計	37,855	42,564
負債・資本の部合計	131,031	139,443

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)
売上収益	161,805	143,293
売上原価	134,410	117,347
売上総利益	27,395	25,946
販売費及び一般管理費	19,699	18,581
調整後営業利益	7,696	7,365
その他の収益	1,071	395
その他の費用	493	126
営業利益	8,274	7,634
金融収益	122	135
金融費用	1,123	596
持分法による投資利益	221	175
税引前四半期利益	7,494	7,348
法人所得税費用	1,853	2,011
四半期利益	5,640	5,336
四半期利益の帰属：		
親会社株主持分	5,635	5,331
非支配持分	4	5
1株当たり親会社株主に帰属する 四半期利益：		
基本	19.99円	18.91円
希薄化後	—	—

要約四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)
四半期利益	5,640	5,336
その他の包括利益		
純損益に組み替えられない項目		
その他の包括利益を通じて測定する 金融資産の公正価値の純変動額	192	198
純損益に組み替えられない項目合計	192	198
純損益に組み替えられる可能性がある 項目		
在外営業活動体の換算差額	△761	123
キャッシュ・フロー・ヘッジの 公正価値の純変動額	△0	0
持分法のその他の包括利益	△158	△101
純損益に組み替えられる可能性がある 項目合計	△920	22
その他の包括利益合計	△728	220
四半期包括利益	4,912	5,557
四半期包括利益の帰属：		
親会社株主持分	4,930	5,569
非支配持分	△18	△11

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)

(単位 百万円)

	親会社株主持分					非支配持分	資本の部 合計
	資本金	利益剰余金	その他の 包括利益 累計額	自己株式	合計		
期首残高	20,346	6,934	7,681	△139	34,823	171	34,994
変動額							
四半期利益		5,635			5,635	4	5,640
その他の包括利益			△705		△705	△23	△728
四半期包括利益合計		5,635	△705		4,930	△18	4,912
親会社株主に対する配当金		△563			△563		△563
自己株式の取得				△7	△7		△7
企業結合による変動						7	7
変動額合計	—	5,072	△705	△7	4,359	△11	4,347
期末残高	20,346	12,006	6,976	△146	39,182	159	39,342

当第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)

(単位 百万円)

	親会社株主持分					非支配持分	資本の部 合計
	資本金	利益剰余金	その他の 包括利益 累計額	自己株式	合計		
期首残高	20,346	14,124	3,366	△148	37,688	166	37,855
変動額							
四半期利益		5,331			5,331	5	5,336
その他の包括利益			237		237	△16	220
四半期包括利益合計		5,331	237		5,569	△11	5,557
親会社株主に対する配当金		△845			△845		△845
自己株式の取得				△2	△2		△2
利益剰余金への振替		1	△1		—		—
変動額合計	—	4,487	235	△2	4,720	△11	4,709
期末残高	20,346	18,612	3,602	△151	42,409	155	42,564

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)
営業活動に関するキャッシュ・フロー		
四半期利益	5,640	5,336
四半期利益から営業活動に関する キャッシュ・フローへの調整		
減価償却費及び無形資産償却費	8,942	8,640
法人所得税費用	1,853	2,011
持分法による投資利益	△221	△175
金融収益及び金融費用	1,001	461
固定資産売却等損益	△434	△9
売上債権の増減	3,294	2,746
棚卸資産の増減	△5,905	△1,839
買入債務の増減	7,238	4,129
引当金の増減	18	36
退職給付に係る負債の増減	△273	△171
その他	△1,971	△923
小計	19,183	20,243
利息の受取	81	81
配当金の受取	43	78
利息の支払	△270	△215
法人所得税の支払	△1,441	△2,184
営業活動に関するキャッシュ・フロー	17,596	18,003
投資活動に関するキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得	△2,956	△1,644
無形資産の取得	△6,833	△5,356
有形固定資産の売却	1,113	23
有価証券及びその他の金融資産の取得	△83	△101
有価証券及びその他の金融資産の売却	14	88
その他	73	53
投資活動に関するキャッシュ・フロー	△8,671	△6,936
財務活動に関するキャッシュ・フロー		
長期借入債務による調達	8,000	—
長期借入債務の償還	△8,765	△720
配当金の支払	△563	△845
未払配当金の増減	—	6
自己株式の取得	△7	△2
財務活動に関するキャッシュ・フロー	△1,336	△1,562
現金及び現金同等物に係る為替変動による 影響	△377	240
現金及び現金同等物の増減	7,210	9,744
現金及び現金同等物の期首残高	8,257	14,326
現金及び現金同等物の期末残高	15,468	24,071

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)

(単位 百万円)

	報告セグメント					調整額	合計
	日本	米州	欧州	アジア・豪州	計		
売上収益							
外部顧客への売上収益	61,769	68,808	10,112	21,114	161,805	—	161,805
セグメント間の売上収益	51,877	3,621	2,807	46,106	104,412	△104,412	—
計	113,647	72,429	12,919	67,221	266,217	△104,412	161,805
調整後営業利益	2,920	1,915	160	2,422	7,418	277	7,696
セグメント利益	3,207	2,120	161	2,550	8,040	233	8,274
金融収益	—	—	—	—	—	—	122
金融費用	—	—	—	—	—	—	1,123
持分法による投資利益	—	—	—	—	—	—	221
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	7,494

(注) セグメント利益は、要約四半期連結財務諸表上の営業利益と調整を行っております。セグメント利益の調整額233百万円は全額セグメント間取引消去であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)

(単位 百万円)

	報告セグメント					調整額	合計
	日本	米州	欧州	アジア・豪州	計		
売上収益							
外部顧客への売上収益	51,265	64,710	9,259	18,058	143,293	—	143,293
セグメント間の売上収益	51,243	2,441	2,373	36,962	93,020	△93,020	—
計	102,508	67,152	11,632	55,020	236,313	△93,020	143,293
調整後営業利益又は損失(△)	3,028	1,862	△46	2,729	7,573	△208	7,365
セグメント利益又は損失(△)	3,225	1,888	△31	2,803	7,886	△252	7,634
金融収益	—	—	—	—	—	—	135
金融費用	—	—	—	—	—	—	596
持分法による投資利益	—	—	—	—	—	—	175
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	7,348

(注) セグメント利益は、要約四半期連結財務諸表上の営業利益と調整を行っております。セグメント利益の調整額△252百万円は全額セグメント間取引消去であります。